

(中予 - 5)

アゲハ類幼虫の薬剤効果試験

1. 調査目的

かんきつに発生したアゲハ類幼虫の薬剤試験を室内で実施し、今後の防除対策の資料とする。

2. 材料および方法

- (1) 供試虫 北条市難波 いよかん圃場で採集
- (2) 供試薬剤 オルトラン水和剤、ラービフロアブル、ハチハチフロアブル
コテツフロアブル、モスピラン水溶剤、アクタラ顆粒水和剤
- (3) 調査方法

所定濃度に希釈した各薬剤をハンドスプレーで噴霧した伊予柑夏秋梢展開葉を1区あたり3枚使用した。風乾後、直径8cmのアイスクリームカップに設置。現地で採集した2～4齢のアゲハ類幼虫を1区5頭3反復接種し、24時間後と72時間後の補正死亡率と食害率を算出した。

3. 結果および考察

オルトラン水和剤、ラービフロアブルの効果が高かった。コテツフロアブルは効果が不安定であったが、食害率は低かった。ハチハチフロアブルは24時間後の食害率は低いものの、72時間後ではモスピラン水溶剤、アクタラ顆粒水和剤と同様に効果は認められなかった。

表1 各種薬剤におけるアゲハ類幼虫に対する薬剤効果

薬 剤 名	希釈倍数	24時間後		72時間後	
		補正死亡率 (%)	食 害 率 (%)	補正死亡率 (%)	食 害 率 (%)
オルトラン水和剤	1,000	100.0	0.0	100.0	0.0
ラービフロアブル	800	80.0	3.3	93.3	3.3
ハチハチフロアブル	2,000	0.0	15.0	26.7	86.6
コテツフロアブル	2,000	13.3	1.6	40.0	10.0
モスピラン水溶剤	2,000	0.0	50.0	13.3	100.0
アクタラ顆粒水和剤	1,000	0.0	50.0	13.3	100.0
無 処 理	-	0.0	50.0	0.0	100.0